

特集

防水における 環境負荷低減技術

建築材料・施工の分野において、環境負荷の低減策を講じることはもはや必須の要素になっている。もちろん防水に関しても例外ではなく、材料・工法の開発にあたっては環境への影響が必ず考慮されている。また工法を採用する側でも、機能、性能、コストのほかに、環境負荷の低減を重要なファクターとしている。さらに防水では、断熱や太陽光発電等、建築物の環境負荷低減に資する要素を付加することもできるなど、様々なアプローチが考えられ、メーカー各社の技術開発に期待が高まっている。

本特集では、ゼネコン技術者から見た防水における環境負荷低減の現状や今後への期待、課題についての意見を掲載するとともに、材料・工法の最新開発動向を紹介し、これからの建築防水を展望していく。

編集部

インタビュー

建築工事での環境負荷低減の動きと 防水への応用

(株)大林組 技術研究所 主任研究員

奥田 章子氏に聞く …36

製品レポート

水性アクリルゴム系塗膜防水工法の 展開

アトミクス 嵯峨 浩二 …40

環境保護に貢献する防水改修工法の 開発

スズカファイン 舘 正憲 …42

特殊樹脂注入による アスファルト防水層再生工法

成瀬化学 阪本 康平 …44

外壁用塗膜防水材と遮熱塗料による 外壁への機能付与

フジワラ化学 工藤 大騎 …46